

宝木地区 宝木町1の2自治会

「高齢者世帯にも配慮した自治会活動」

●加入世帯数：403世帯 ●加入率：73.5%

活動内容

宝木町1の2自治会は、昭和45年宝木小学校創立に伴い、宝木地区連ができたときに単位自治会として発足しました。当地区はいわゆる住宅専用地域で、当時からの会員が大部分を占め、否応なく高齢化が進んでいます。

当地域は、旧6軒町と言い、6軒神社、公民館も6軒の冠称が付いており、古き伝統慣習を大切にしています。

<6軒神社祭りの継承>

毎年秋に行われる伝統ある神社の祭礼を継承し、現在は育成会の餅つき大会、農産部の販売などを行い地域の親睦と絆を深めることに努めています。

<明るいまちづくり>

犯罪の予防には、環境を良くすることが大切で、特に夜道の明るさは地域の方を安心させることから、防犯灯の充実に力を入れ、現在は町内のすべての電柱に防犯灯を整備し安全で安心なまちづくりに努めており、防犯に効果をあげています。

<公民館を高齢者の憩いの場に>

公民館を高齢者が気軽に集まれる

ように、地域の意見を吸い上げて、老人クラブが中心となり輪投げやカラオケなどの活動に活用し、高齢者の閉じこもり絶無を目指しています。

<体育活動への参加>

地域の健康増進と親睦を図るため、地区の知育行事には積極的に参加し、特に各種球技大会には数多く参加して毎年入賞する種目も多いです。

本年は、現在まで優勝はありませんが、卓球、テニス、バレーボールが3位以内に入賞しました。

加入率を維持する秘訣

県道拡張により、この町から転出する方が多く、世帯数は減少しています。

特に秘訣はありませんが、高齢者世帯が多くなってきており、むしろ脱会しないように班長の輪番を強制しないよう、さらに、自治会活動を強制しないよう配慮しています。